

- 問1 イスラム教を信仰する人々が、サウジアラビアにある聖地メッカの方向を向いて礼拝を行うという文化的な慣習に関連して、各国のホテルや空港などの施設内で実際に行われている配慮として最も適切なものはどれですか。（2024年 山梨県公立入試 類似）
- エルサレムの位置を特定するために、すべての部屋に方位磁針を埋め込む。
 - どの国にいても常に北を向いて祈るように、地図の北側に聖地を配置する。
 - パチカンの方向に顔を向けられるよう、全座席を西向きに固定する。
 - 客室の天井や床に、聖地のある方角を示すマークや矢印を表示する。
- 問2 南北両半球の中緯度帯、例えば南緯40度から60度付近の地域などにおいて、一年中絶えず西から東に向かって吹いている恒常的な風を何というか。（2026年 静岡県公立入試 類似）
- 上昇気流
 - 偏西風
 - 貿易風
 - 季節風
- 問3 ユネスコが実施している世界遺産の登録制度において、歴史的な建造物や遺跡などの「文化遺産」と、貴重な地形や生態系を持つ「自然遺産」の両方の価値を兼ね備えているものは何と呼ばれますか。（2024年 栃木県公立入試 類似）
- 世界の記憶
 - 複合遺産
 - 無形文化遺産
 - 国際保護区
- 問4 世界の宗教の分布について述べた文のうち、イスラム教の地理的な広がりの特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2021年 和歌山県公立入試 類似）
- 西アジアで誕生し、現在は南アジアのインドを中心に信仰されている。
 - 北アフリカから西アジアにかけて分布しているが、東南アジアには普及していない。
 - 東南アジアから中央アジアを経て、北アフリカまで陸路のみで普及した。
 - 西アジアから北アフリカ、中央アジア、そして東南アジアまで広く信仰されている。
- 問5 東南アジアなどの熱帯地域において、午後から夕方にかけて短時間のうちに降る、強い風を伴う激しい大粒の雨を何と呼びますか。（2022年 徳島県公立入試 類似）
- モンスーン
 - やませ
 - スコール
 - 台風
- 問6 太平洋上の異なる地点における気候データを比較する際、月平均気温の最高値と最低値の差である「年較差」や、年降水量の違いは重要な指標となります。年降水量が2000mmを超える非常に湿潤な特徴を持つ地点と、年降水量が約500mmと少ない特徴を持つ地点の組み合わせとして、地理的条件から判断して最も適切なものはどれですか。（2022年 兵庫県公立入試 類似）
- 湿潤な地点は南米西岸、降水量が少ない地点はオーストラリア東岸
 - 湿潤な地点は寒流の影響を受ける地域、降水量が少ない地点は暖流の影響を受ける地域
 - 湿潤な地点は北太平洋の中緯度地点、降水量が少ない地点は赤道付近の島々
 - 湿潤な地点はオーストラリア東岸、降水量が少ない地点は南米西岸
- 問7 2016年の主要穀物の統計において、米と小麦はどちらも世界全体で7億トンを超える生産量がありますが、生産量に対する輸出量の割合は小麦の方が大幅に高くなっています。米の輸出割合が小麦に比べて低くなっている理由として、最も適切なものはどれですか。（2020年 兵庫県公立入試 類似）
- 米は主に降水量の多い地域で栽培され、その多くが生産国において主食として自給的に消費される傾向が強いいため。
 - 米は小麦に比べて長距離の輸送や長期の保存に適しておらず、国際的な貿易が困難な農産物であるため。
 - 米の主な生産国である中国やインドでは、農業の機械化が全く進んでおらず、輸出に回す余力がないため。
 - 小麦は米よりも栽培できる気候条件が厳しく、特定の乾燥地域でしか生産できないため、国際的な流通が必然的に増えるため。
- 問8 1990年から2016年にかけての主要国のエネルギー消費と二酸化炭素排出量の推移に関する記述として、統計的な事実と合致するものはどれですか。（2020年 兵庫県公立入試 類似）
- ドイツやイギリスでは産業の拡大を優先した結果、1990年時点よりも二酸化炭素排出量が増加し続けている。
 - 総発電量が増加している全ての国において、新技術の導入により二酸化炭素排出量は1990年比で減少している。
 - 経済発展が著しい中国やインドでは、総発電量の増加とともに二酸化炭素排出量も大きく増加している。
 - 日本は主要国の中で、総発電量に占める再生可能エネルギーの割合が最も高い国となっている。
- 問9 アフリカ大陸や南アメリカ大陸の赤道付近に広がる地域において、一年のうちで雨の多い時期（雨季）と、雨が極端に少なくなる時期（乾季）がはっきりと分かれている気候帯を何と呼びますか。最も適切な名称を選択してください。（2015年 鹿児島県公立入試 類似）
- 地中海性気候
 - 砂漠気候
 - 熱帯雨林気候
 - サバナ気候
- 問10 ロシア北部の高緯度地帯を調査した資料において、現地の生活習慣を説明した文として、衣服と自然環境の関係について正しく述べたものはどれですか。（2019年 富山県公立入試 類似）
- 昼夜の寒暖差が激しいため、日中は直射日光を遮り、夜間は保温できる麻の衣服が好まれる。
 - 標高が高く空気が薄いため、酸素を取り込みやすいように軽装で過ごす工夫がなされている。
 - 冬の気温が氷点下になる厳しい寒さに耐えるため、機能的で厚い防寒具が使用されている。
 - 一年を通じて降水量が非常に多いため、防水性に優れた植物の葉を編み込んだ衣服が中心である。
- 問11 1990年から2018年にかけて、日本やアメリカの二酸化炭素排出総量が増加しているにもかかわらず、世界全体に占める両国の排出割合が減少した背景として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 奈良県公立入試 類似）
- 日本とアメリカが全ての化石燃料の使用を廃止し、再生可能エネルギーへの完全な転換を達成したため。
 - 世界全体の人口が減少したことでエネルギー消費が抑制され、日本やアメリカの排出割合だけが特異的に低下したため。
 - 欧州諸国における二酸化炭素の排出量が、日本やアメリカの増加分を補うほど劇的に減少したため。
 - 中国やインドといった新興国の経済発展が目覚ましく、それらの国々の排出量の伸びが日本やアメリカを大きく上回ったため。
- 問12 北アメリカ大陸西岸の統計データにおいて、夏季の降水量が著しく不足し、冬季に比較的多くの雨が降るという特徴が見られる場合、その気候区分の性質を説明したものとして最も適切なものはどれか。（2019年 福岡県公立入試 類似）
- 夏季は高温多雨であるが、冬季は極寒となり地面が長期間凍結する。
 - 一年を通して高温多雨であり、季節による降水量の変化がほとんどない。
 - 偏西風と暖流の影響を強く受け、一年を通して気温と降水量の差が小さい。
 - 夏季は乾燥して降水量が少なく、冬季に降水量が多くなる。
- 問13 地中海沿岸やアメリカ西海岸のカリフォルニア州などで見られる、夏の乾燥した気候に適応したオリーブやぶどうなどの栽培、および冬の降水を利用した小麦栽培を組み合わせた農業が盛んな気候区はどれですか。（2023年 岐阜県公立入試 類似）
- 地中海性気候
 - サバナ気候
 - 西岸海洋性気候
 - 砂漠気候

答え合わせ・解説

問1	答え 4 客室の天井や床に、聖地のある方角を示すマークや矢印を表示する。	イスラム教徒にとって礼拝の方角（キブラ）を把握することは非常に重要です。そのため、サウジアラビア国内をはじめ、イスラム教徒が利用する世界各地の宿泊施設や公共施設では、メッカがどの方角にあるかを視覚的に示すための印が設置されるなどの工夫がなされています。
問2	答え 2 偏西風	地球の中緯度帯の上空では、一年を通じて西から東へと向かう強い風が吹いています。これを偏西風と呼びます。低緯度から高緯度へ向かう空気が、地球の自転の影響を受けることで西寄りの風となります。日本が位置する北半球だけでなく、南半球の中緯度帯においても同様に吹いています。
問3	答え 2 複合遺産	世界遺産は、その特徴によって大きく3つに分類されます。芸術や歴史的な価値を持つ「文化遺産」、地学的な特徴や生物多様性を持つ「自然遺産」、そしてその両方の価値を持つ「複合遺産」です。いずれも将来の世代へ引き継ぐべき、顕著な普遍的価値を持つものとしてユネスコにより登録されます。
問4	答え 4 西アジアから北アフリカ、中央アジア、そして東南アジアまで広く信仰されている。	イスラム教は、発祥の地である西アジアにとどまらず、歴史的な征服や交易を通じて北アフリカや中央アジアに拡大しました。さらに、13世紀以降は商人たちの活動によって海を渡り、東南アジア（現在のインドネシアやマレーシアなど）の島々にも深く浸透したため、アジアからアフリカにかけて非常に広い分布域を持っています。
問5	答え 3 スコール	赤道に近い熱帯地域では、日中の強い日差しによって地表付近の空気が暖められ、上昇気流が発生します。これによって積乱雲が急速に発達し、午後から夕方にかけて短時間で激しい雨をもたらします。季節によって風向きが変わる「モンスーン（季節風）」や、熱帯低気圧が発達した「台風（台風）」とは発生の仕組みが異なります。
問6	答え 4 湿潤な地点はオーストラリア東岸、降水量が少ない地点は南米西岸	オーストラリア東岸は暖流（東オーストラリア海流）の影響や、海側から吹き込む湿った貿易風の影響により、年間を通じて降水量が多い傾向にあります。対して、南米西岸は強力な寒流（ペルー海流）の影響で大気が安定するため、降水量が非常に少なくなります。このように同じ太平洋沿岸でも、大陸の東岸か西岸か、あるいは海流の性質によって気候特性は大きく異なります。
問7	答え 1 米は主に降水量の多い地域で栽培され、その多くが生産国において主食として自給的に消費される傾向が強い。	アジアを中心とした米の主要生産国では、生産された米の多くがその国の人々の主食として国内で消費されるため、生産量に対する輸出量の割合は低くなります。これに対し、小麦はアメリカ合衆国などで大規模な土地と機械を利用した企業的な農業によって、輸出を目的として生産される割合が高いため、国際的な流通量が多くなるという特徴があります。
問8	答え 3 経済発展が著しい中国やインドでは、総発電量の増加とともに二酸化炭素排出量も大きく増加している。	新興国である中国やインドでは、急速な工業化や都市化に伴って総発電量が増大しており、それに比例して二酸化炭素排出量も増加傾向にあります。一方で、ドイツやイギリスなどの先進国では環境政策の導入により排出量を減少させており、経済成長と排出量抑制の両立が課題となっています。日本は再生可能エネルギーの導入を進めていますが、欧州諸国と比較するとその割合はまだ低い水準にあります。
問9	答え 4 サバナ気候	赤道付近の熱帯の中でも、一年を通して降水量が多い地域を熱帯雨林気候と呼ぶのに対し、降水量が季節によって大きく変動し、雨季と乾季が明確に現れるのがこの気候の特徴です。アフリカの広大な草原地帯などに代表され、降水量の変化が植生や野生動物の移動に大きな影響を与えています。
問10	答え 3 冬の気温が氷点下になる厳しい寒さに耐えるため、機能的で厚い防寒具が使用されている。	高緯度地域における生活は、その厳しい寒冷な気候に強く規定されています。特にユーラシア大陸北部のロシア付近では、冬の気温が非常に低くなるため、単に服を重ねるだけでなく、防風性や保温性に優れた毛皮や厚手の素材を用いた、機能的な防寒具を着用することが生存に直結する重要な生活の知恵となっています。他の選択肢にある「標高の影響」は高山気候、「降水量の影響」は熱帯雨林気候、「昼夜の寒暖差」は乾燥帯（砂漠）などの特徴を説明したものです。
問11	答え 4 中国やインドといった新興国の経済発展が目覚ましく、それらの国々の排出量の伸びが日本やアメリカを大きく上回ったため。	世界全体の二酸化炭素排出の構造は、1990年以降大きく変化しました。日本やアメリカも排出量を増やしてはいますが、それ以上に「世界の工場」として急速な成長を遂げた中国や、人口増加と工業化が進むインドなどの排出増加ペースが極めて速かったことが要因です。その結果、分母となる世界全体の排出量が膨らみ、相対的に日本やアメリカの「割合」は減少するという統計的特徴が生まれました。
問12	答え 4 夏季は乾燥して降水量が少なく、冬季に降水量が多くなる。	地中海性気候の最大の特徴は、夏季の乾燥と冬季の降雨である。北半球では7月から8月にかけて亜熱帯高圧帯の影響を強く受けるため乾燥し、冬には温帯低気圧や偏西風の影響で雨が降るといったメカニズムがある。
問13	答え 1 地中海性気候	夏の強い日差しと乾燥に耐えられるよう、皮が厚く硬い葉を持つオリーブや、深い根を張る果樹などを栽培する「地中海式農業」が発達しています。この農業形態は、気候の特色である「夏の乾燥」と「冬の湿潤」を巧みに利用したものです。